

魅力ある新中学校開校を教育長と語る会（勝山中部中学校） 記録要旨

○と き：令和5年6月29日（木）9時30分～10時20分

○ところ：勝山中部中学校職員室・校長室

○出席者：職員8名+校長

1. 意見交換（職員8名+校長）

職員1	<p>・地域移行が始まり部活動がどうなるのか気になる。土日は教員でない方が見たりして部活動は目まぐるしく変化している。3中で擦り合わせていかないといけない。R8年度までには3中そろえてやれるといい。中高一緒に練習して刺激になるように時間や場所のアイデアがあるといい。</p>
職員2	<p>・特色ある教育とあるが根幹は教科指導だと思う。クラスの数が多くて目が届かない。せっかく集まるのでクラスの人数を少なくして教員を増やせるといい。探究や主体的は特活でやっている感があるが授業に入ってくるといい。</p>
職員3	<p>・部活動で南部中と合同でしている。統合するなら地域移行を進めていけるといい。</p>
事務局	<p>・部活動の地域移行がスタートしてどんどん競技団体が受けてくださるといいが指導者がいないなど難しい状況にある。例えば総合スポーツクラブの導入とか思い切ったことを考えていかないと難しい。</p> <p>・中高の部活はバドは合同練習ができる、バレーはボールの大きさが違う、バスケットは体格差がある、文化部なら一緒にできるなどさまざまある。中高が連携して子ども達の技能が伸びるところはすればいい。基本的にはそれぞれの練習場所は確保する。</p> <p>・教科指導で子ども達が学びに向かう力をつける事が大事で先生が全てお膳立てをして教えていくことはやめて子どもが自分で学びに向かうようにしていかなくてはいけない。新中学校からではなく今の小中学校で念頭に置いて指導されていること。教科の中でも探究的な中身でやっていくし、探究特活と全体としてつながるようなようにしていくことは当然。根幹はここにある。</p> <p>・1学級の人数は福井県は32人で新中学校は1学年5学級体制と考えている。1学級の人数が減るといいが教員の数との兼ね合いがあるので難しい。支援員はできるだけニーズに合わせて配置していくことは必要。</p>

職員 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標としていることは必要なことだが特色ある教育内容を全部はできない。中1で探究の授業を始めたが子ども達が主体的にやるためにはていねいな下積み時代が必要。何も知らない子ども達は主体的に動けない。ていねいな指導をしていくには人手がほしいし訓練する時間が必要。</li> <li>・小学校の先生が中1の授業に入ってほしい。</li> <li>・中部の1年は担当教員が4人、南部中1年は5人、北部中1年は4人で13人が関わっている。個別の対応がたくさんあり支援員や他の先生に入ってもらっている。5クラスになったら13人はつかない。その子たちの居場所や保健室などがどのくらいあって寄り添う大人がどのくらいつけてもらえるのか。</li> </ul>
職員 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語のALTが一人減った。兼務になって打合せがしにくくなっている。コミュニケーション型にして生徒がつけてきた力を発揮する場面としてALTを中学校専任で2人できれば3人を確保してほしい。</li> <li>・先を見据えた専門的な知識や技能や他へのつながりについてコーディネイトできる方を配置してほしい。SC（スクールカウンセラー）も常駐してほしい。</li> </ul>
職員 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学に関して中学校の教員が高校の授業を学び直すことが大事。高校に中学校の教員が行ってどこでつまづいているのか実態を見ることも大切。中学校の授業に高校の先生がTT（チームティーチング）に入ることもいいが高校の授業に中学校の教員がTTに入ることもいいと思う。</li> <li>・交流学級での授業を考えると特別支援の教室がそれぞれの階にあるといい。足が向かない子もいるので柔軟にできるように部屋は大きくなくてもあるといい。</li> <li>・スクールバスは自転車の距離で決めたと思うが停留所をよく検討してほしい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人については県へ要望を続ける。ALT、SC、探究コーディネーターは検討していきたい。CIRを市は増やしていく構想があるので連携して入る形もあるかもしれない。</li> <li>・主体性は無理で先生がやらないとできないというのはわかるが、今の体制を続けていくとつらい。子どもが一人でやり出す、先生が支援できる国のスタイルに持っていくためにはどうしたらいいのかを考えていかないと状況はかわらない。一緒に考えながら子どもを育てていく。中1スタートが厳しいなら小中の連携で小学校段階から中学校の接続に向けてやっていく。主体性が加速して身につけていく、そこを目指していきたい。そのためにどうしたらいいのかを一緒に考えていきたい。</li> <li>・中高数学の交流はできる。公開授業に行くのもいいし、同じ学校の中に入れ</li> </ul>

	<p>ば話はできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援については他の学校や保護者から要望が出ている。設計をしていく中で配慮が必要な子達のスペースを確保する。教室をパーティションで区切って個室にしてクールダウンする部屋を確保することはやっていかないといけない。階の配置はいろいろな意見を聞きながら何がベストかを教えてもらいながら設計にいかしたい。</li> <li>・スクールバスは今の案は変わっていて自転車を1.5kmにして近くの子も乗れるようにする。委員の意見を聞きながら決めていきたい。</li> </ul>
職員 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すばらしい校舎、プログラムの話を聞いて子ども達はどれだけ話にのっていただけるのだろうと思っている。人数が増える事へのストレスがあったり、制服なども悩んだりするのだろう。支援をしてくれる人が1人でもいるとうれしい。いろいろな支援が必要だと思う。養護教諭やSCは生徒数に応じて配置されるのでボランティアでも加わっていただけるといい。</li> </ul>
職員 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな部活動を想定しているのか。ソフトボールやバスケットボールはやるのか。</li> <li>・野球だと来年からクラブチームにして3中一緒にする動きがある。従来からあるアカデミーというクラブの活用は考えていない。連携を密にしておくといい。</li> <li>・学年集会や緊急に集まりたい場合に体育館を使うと高校側との連携が必要になる。やりたいときにできないことが増えるのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会とも話をしているが前向きな意見が多い、高校生は怖くないという子もいれば不安という子もいる。制服はできるだけ子どもの意見を入れていきたいと考えている。</li> <li>・支援の必要な子に対して支援員等反映していく。</li> <li>・設置する部活は生徒の気持ちも聞かないといけないし皆さんと相談して決めていきたい。地域移行のことは中体連や顧問の先生や競技団体や市教委と相談しながら進めていく形だと思う。積極的な意見は言っただきながら最適解を見つけていきたい。</li> <li>・集会はやりたいときにできるようにしていかなければいけない。多目的室やメディアルームを使いながら、さらに教室も廊下等を使いながらオープンなスペースを考えたい。設計との相談になる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のいろいろな意見を一緒に考えて自分たちがつくっていくスタンスでお願いしたい。</li> </ul>